

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・保護者アンケート（ＩＣＴ環境・適正配置等）をＷＥＢ化したので、学校での集計業務が削減できた。
- ・市社会福祉協議会と連携し、校内消毒作業をボランティアで行ってもらっているので教職員の業務軽減になっている。
- ・研修会のいくつかがオンライン化しているので、負担が軽減してきたと思う。
- ・オンライン学習をしやすくするために授業目的公衆送信補償金制度の契約を要求している。
- ・留守番電話の早急な設置を要望している。
- ・学校がそれぞれの形で行っている健康管理（検温や出欠連絡）の市内統一を要望している。

視点２ 自校での取組

- ・作品の朱入れ（コメント・評価）を削減している。
- ・検温や出欠連絡をＷＥＢ化している。（リーバー、マチコミ、学校独自で開発したもの等）
- ・学校行事を精選し、簡略化しているので、今後もコロナ前に戻すことのないようにしていきたい。

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・ウィズコロナ、アフターコロナの学校行事の在り方を検討する。
- ・日課を見直す。

県西地区テーマより

柱１

- ・登下校等の見守り組織の設置やＰＴＡ活動の見直し等を図る必要がある。
- ・地域部活動の推進をいかに進めるか、学校だけでは難しい問題である。行政の取組が重要である。
- ・学校からの配付文書を電子データで配信できるようにする必要がある。

柱２

- ・月曜日の放課後の活動（委員会やクラブ活動）を見直し、執務時間を確保したい。
- ・運動会等、コロナ禍で工夫してきたことを今後も継続させていくべきである。

柱３

- ・ＧＩＧＡ構想に関する教員のスキルアップ研修をしなければならない。
- ・会議の時間を減らし、研修時間に充てる必要がある。